

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社グループは2022年3月末をもって第126期を終了いたしましたので、ご挨拶を兼ねて決算概況についてご報告するとともに、当社のセグメント別内容などについても併せてご報告申し上げ、ご理解を賜りたいと存じます。



2022年6月  
代表取締役社長 佐口 敏 康

## グンゼにしかできない「こちよさ」をお客さまに提供し続け、「社会貢献」に努めてまいります

### ◆当期の経営成績の概況

日本経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う緊急事態宣言等の影響により、個人消費や企業活動が制限され厳しい状況で推移しました。年明けからはオミクロン株による感染拡大、ウクライナ情勢の緊迫化やサプライチェーンの混乱に加えて、為替レートの急激な円安進行による原燃料価格高騰等、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況において、当社グループでは、中期経営計画「CAN20第2フェーズ」の最終年度にあたり、『集中と結集』をキーワードに、「セグメント別事業戦略」「新規事業創出」「経営基盤強化」の3つの基本戦略への取り組みを進めました。

機能ソリューション事業は、各分野において回復基調となりました。アパレル事業は、店舗販売の低迷及びロックダウンによる海外工場の操業停止影響を受けました。また、ライフクリエイト事業は、ショッピングセンターやスポーツクラブの臨時休業や時短営業の影響を受けました。

### ◆中期経営計画

当社グループは、2022年度～2024年度の3か年を推進期間とする新中期経営計画「VISION 2030 stage1」を公表しました。

新中期経営計画は、2030年のビジョンと目標を明確化し、バックキャスト方式で現状とのギャップを埋めゴールを目指すという考え方に基づき、その第一段階の経営計画として策定しました。2030年ビジョンとして「新しい価値を創造し『こちよさ』を提供することで持続可能な社会の実現に貢献します」を掲げ、「変革と挑戦」をキーワードに、経済的利益と社会的利益を両立させるサステナブル経営を通じて社会貢献と当社グループの持続的成長の実現を目指します。

### ◆対処すべき課題

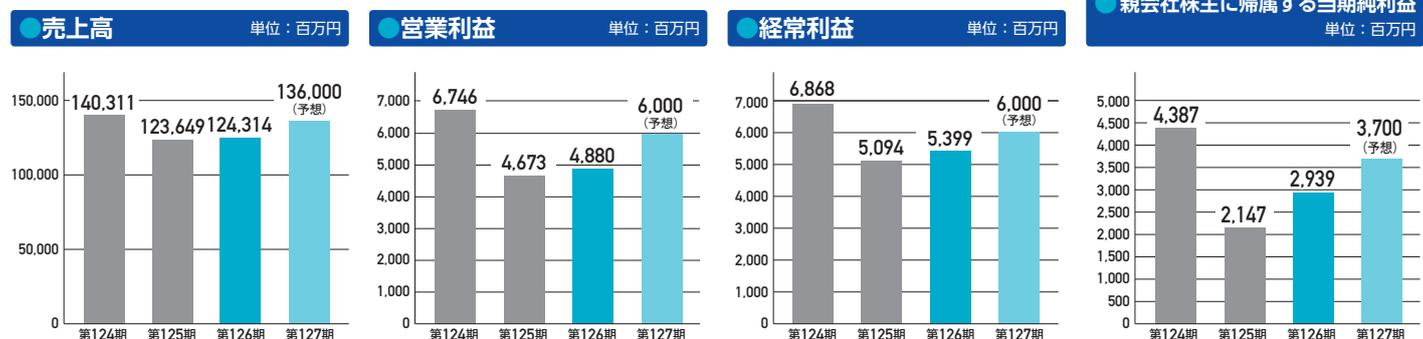
機能ソリューション事業では、プラスチックフィルム分野は環境対応型新商品の市場投入に加え、国内ではサーキュラーファクトリー（資源循環型工場）計画を継続推進してまいります。また、デジタル技術の横展開により生産革新を進める一方、米国・中国・アセアン等海外拡販を強化してまいります。エンジニアリングプラスチック分野は、主力のOA市場向け製品のシェア拡大に加え、健康・医療関連ならびに産業機器向け製品の拡販を目指します。メディカル分野は、米国・中国の販売強化と次期大型新商品の上市とともに、競争力向上を目的に組織再編を検討してまいります。

アパレル事業では、伸長しているECチャネルや直営店舗のDtoCルートでの拡販と他社とのコラボレーションを推進してまいります。インナーウェア分野は、ヘルス&ウェルネス商品やエシカル商品を拡充するとともに、フェムテック商品や差異化ファンデーション商品等レディスインナーの拡販を強化してまいります。また、環境への取り組みとして国内主力工場にてCO<sub>2</sub>排出量の実質ゼロ化と無人化ライン（一部）からなるネットゼロファクトリー計画を推進してまいります。レグウェア分野は、健康関連含むレギンスやボトムカテゴリーの新商品を積極的に展開し、生産拠点の再編等による構造改革を推進してまいります。

ライフクリエイト事業では、不動産関連分野は、商業施設の収益力向上の推進や投資効率を重視した物件別管理を強化してまいります。グリーン分野では、CO<sub>2</sub>削減に向け固定量増加に積極的に取り組むとともに、スポーツクラブ分野は、withコロナへの対応強化、地域・店舗特性に合わせた会員拡大およびスクール事業拡大を図ってまいります。

株主の皆さまには、変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 決算ハイライト



# 連結業績のご報告

## 連結貸借対照表(概要)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

科目	2021年3月31日現在	2022年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	72,090	79,199
固定資産	87,539	79,016
有形固定資産	64,923	59,490
無形固定資産	1,612	1,343
投資その他の資産	21,004	18,183
<b>資産合計</b>	<b>159,629</b>	<b>158,216</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	30,863	31,221
固定負債	13,587	12,203
<b>負債合計</b>	<b>44,451</b>	<b>43,425</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	110,298	109,423
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	6,674	6,566
利益剰余金	84,456	81,184
自己株式	△ 6,904	△ 4,399
その他の包括利益累計額	3,256	3,480
新株予約権	158	131
非支配株主持分	1,465	1,755
<b>純資産合計</b>	<b>115,178</b>	<b>114,790</b>
<b>負債および純資産合計</b>	<b>159,629</b>	<b>158,216</b>

### 流動資産 前年同期比71億円増加

現金及び預金47億円の増加、棚卸資産25億円の増加、未収入金等その他7億円の増加、受取手形及び売掛金10億円の減少などにより、全体では71億円の増加となりました。

### 固定資産 前年同期比85億円減少

建物及び構築物(純額)58億円の減少、投資有価証券36億円の減少、土地16億円の減少、建設仮勘定15億円の増加、工具・器具及び備品(純額)8億円の増加などにより、全体では85億円の減少となりました。

### 流動負債 前年同期比3億円増加

未払金等その他18億円の増加、未払法人税等17億円の増加、支払手形及び買掛金10億円の増加、設備関係支払手形8億円の増加、コマーシャル・ペーパーを含む借入金52億円の減少などにより、全体では3億円の増加となりました。

### 固定負債 前年同期比13億円減少

借入金22億円の減少、長期リース債務等その他10億円の増加などにより、全体では13億円の減少となりました。

### 純資産 前年同期比3億円減少

親会社株主に帰属する当期純利益の計上29億円、為替換算調整勘定15億円の増加、配当金の支払20億円、自己株式の取得等19億円、その他有価証券評価差額金9億円の減少などにより、全体では3億円の減少となりました。

### 売上高 1,243億円

機能ソリューション事業で561億円(前年同期496億円)、アパレル事業で571億円(前年同期626億円)、ライフクリエイティブ事業で115億円(前年同期119億円)となり、全体では1,243億円となりました。

### 営業利益 48億円

機能ソリューション事業で80億円(前年同期48億円)、アパレル事業で△5億円(前年同期23億円)、ライフクリエイティブ事業で4億円(前年同期4億円)となり、全体では48億円となりました。

### 営業活動によるキャッシュ・フロー 前年同期比5億円増加

税金等調整前当期純利益55億円、減価償却費60億円、減損損失35億円、固定資産除売却損益46億円、棚卸資産の増加20億円などにより91億円の収入となり、前年同期比5億円の増加となりました。

## 連結損益計算書(要約)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

科目	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	2021年4月1日から 2022年3月31日まで
<b>売上高</b>	<b>123,649</b>	<b>124,314</b>
<b>売上総利益</b>	<b>37,982</b>	<b>37,614</b>
販売費及び一般管理費	33,309	32,734
<b>営業利益</b>	<b>4,673</b>	<b>4,880</b>
営業外損益	421	519
<b>経常利益</b>	<b>5,094</b>	<b>5,399</b>
特別損益	△ 1,738	167
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>3,356</b>	<b>5,566</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>2,147</b>	<b>2,939</b>

(注1) 各セグメントの合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値であり、全体の合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整した数字となっております。

(注2) 収益認識に関する会計基準等を当連結会計年度の期首から適用しており、前連結会計年度と収益の会計処理が異なることから、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益及び関連する経営指標については増減額及び増減率を記載しております。なお、収益認識会計基準等の適用により、当連結会計年度の売上高は3,770百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ36百万円増加しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

科目	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	2021年4月1日から 2022年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,595	9,155
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,169	6,806
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,335	△ 12,358
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	692
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	449	4,296
現金及び現金同等物の期首残高	9,267	9,717
連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	-	456
現金及び現金同等物の期末残高	9,717	14,469

## 株式の状況 (2022年3月31日現在)

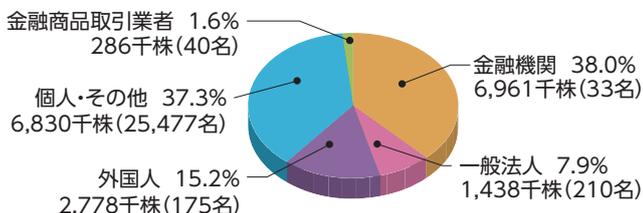
発行済株式の総数 18,293,516株

◎自己株式(2021年4月1日から2022年3月31日)

取得 436千株(1,919百万円)  
処分 23千株(103百万円)  
消却 1,000千株(4,321百万円)  
期末 1,017千株(4,399百万円)

◎単元株式数：100株

株主数 25,935名



(注)円グラフは発行済株式数に対する保有割合

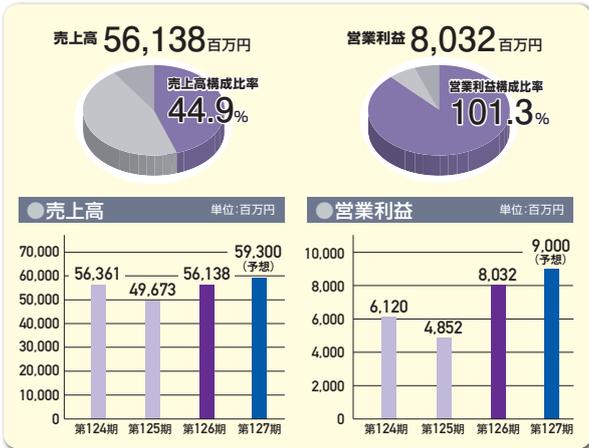
大株主一覧 (上位10名の株主)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社日本カストディ銀行	2,416	13.99
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,932	11.19
株式会社三菱UFJ銀行	594	3.44
株式会社京都銀行	587	3.40
全国共済農業協同組合連合会	451	2.61
グンゼグループ従業員持株会	425	2.46
第一生命保険株式会社	298	1.73
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	284	1.64
株式会社GSIクレオス	271	1.57
JP MORGAN CHASE BANK 385781	199	1.16

(注)当社は、自己株式1,017千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

# セグメント状況

## 機能ソリューション事業



(注1) セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。  
 (注2) 「収益認識に関する会計基準」等を当連結会計年度の期首から適用しており、前連結会計年度と収益の会計処理が異なることから、売上高、営業利益については増減額及び増減率を記載していません。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は675百万円減少しましたが、営業利益に与える影響はありません。

プラスチックフィルム分野は、包装用フィルムの巣ごもり需要継続に加え、輸出・工業用フィルムが堅調に推移しました。エンジニアリングプラスチック分野は、OA機器向け製品の回復と半導体市場の需要増により、好調に推移しました。電子部材分野は、世界的な半導体不足に伴う部材調達の長期化影響を受けましたが、コストダウン活動が寄与しました。医療用分野は、一部の地域で新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、中国市場及び医療用レーザーの伸長により好調に推移しました。

### 〈プラスチックフィルム分野〉



バイオマス原料を使用した収縮フィルム

### 〈エンジニアリングプラスチック分野〉



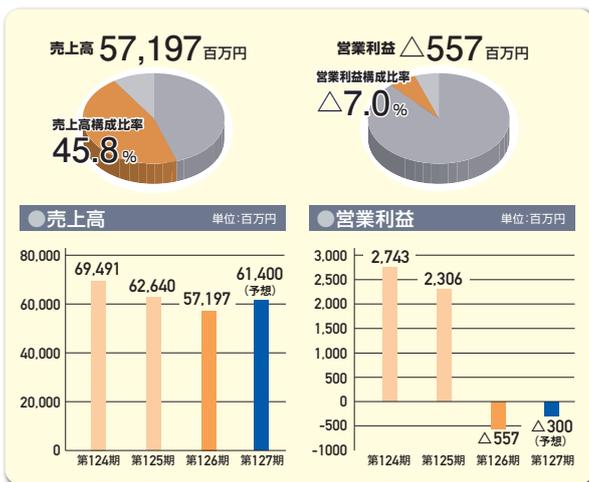
押出成型技術、材料加工技術による様々な用途への対応

### 〈医療用分野〉



シート状吸収性癒着防止材(テナリーフ)を2022年3月に上市

## アパレル事業



(注1) セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。  
 (注2) 「収益認識に関する会計基準」等を当連結会計年度の期首から適用しており、前連結会計年度と収益の会計処理が異なることから、売上高、営業利益については増減額及び増減率を記載していません。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は2,922百万円減少し、営業利益は39百万円増加しております。

アパレル事業全体では、新型コロナウイルス感染拡大に伴う市況により、店頭販売が影響を受けましたが、EC、通販チャンネルは好調に推移しました。インナーウェア分野は、メンズ商品が店頭販売不振の影響を受けましたが、レディース商品は差異化ファンデーション商品群や環境配慮型素材の新商品が好調に推移しました。レッグウェア分野は、ストッキング着用機会の減少により販売が苦戦しました。

### 〈インナーウェア分野〉



デザインと穿き心地を両立させた革新的なボクサーパンツ [BODY WILD EZX]

### 〈レッグウェア分野〉

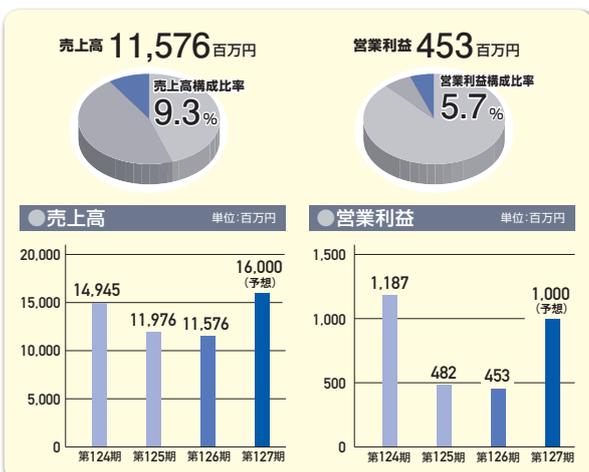


履くだけできれいになる「スタイリッシュサポートレギンス」



オーガニックコットンを採用した「Fitte」

## ライフクリエイト事業



(注1) セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。  
 (注2) 「収益認識に関する会計基準」等を当連結会計年度の期首から適用しており、前連結会計年度と収益の会計処理が異なることから、売上高、営業利益については増減額及び増減率を記載していません。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は172百万円減少し、営業利益は3百万円減少しております。

不動産関連分野は、賃貸事業は堅調に推移しましたが、ショッピングセンター事業で、緊急事態宣言等による時短営業やイベント中止が続き、集客に影響を受けました。スポーツクラブ分野は、緊急事態宣言再発令および自治体からの要請に伴う臨時休館・営業時間短縮等の影響を受けました。

### 〈不動産関連分野〉



グンゼタウンセンター つかしん(兵庫県尼崎市)

### 〈スポーツクラブ分野〉



グンゼスポーツ

# 株主優待について

年2回  
毎年9月末・3月末

通販カタログ商品の  
**30%  
割引優待**

※カタログはイメージです



9月末/中間期のみ

保有株数と保有年数に応じた優待額を付与、優待額の範囲内でご希望の優待サービスと交換等いただけます。

クーポン	贈呈品	寄付
グンゼ公式通販【グンゼストア】でのお買物の際にご利用いただけるクーポンを発行	優待額の範囲内でお好きな製品と交換	優待額1,000円を1口として、子供の未来応援基金へ寄付

※2021年度 子供の未来応援基金への寄付金額は、737,000円でした。

保有株数	保有年数		
	3年未満	3年以上5年未満	5年以上
100～299株	2,000円相当	3,000円相当	4,000円相当
300株以上	4,000円相当	6,000円相当	8,000円相当

## 取締役、監査役、執行役員、主な連結子会社 (2022年6月24日現在)

### 取締役、監査役

代表取締役会長 指名・報酬委員  
代表取締役社長兼社長執行役員 指名・報酬委員  
取締役(社外) 指名・報酬委員(議長)  
取締役(社外) 指名・報酬委員  
取締役(社外) 指名・報酬委員  
取締役兼常務執行役員 財務経理部長  
取締役兼執行役員 研究開発部長  
取締役兼執行役員 アパレルカンパニー長

監査役(常勤)  
監査役(社外)  
監査役(社外)  
監査役

廣地 厚  
佐口 敏康  
中井 洋恵  
鯨岡 修  
木田 理恵  
熊田 誠  
及川 克彦  
河西 亮二

鈴木 富夫  
井上 圭吾  
鈴木 良夫  
森田真一郎

### 執行役員 取締役を兼務するもの以外の執行役員は以下の通りです。

常務執行役員 グンゼ開発(株)代表取締役社長  
常務執行役員 エンプラ事業部長  
常務執行役員 経営戦略部長  
執行役員 繊維資材事業部長  
執行役員 アパレルカンパニーインナーウエア事業本部長  
執行役員 メカトロ事業部長  
執行役員 技術開発部長  
執行役員 経営戦略部次長  
執行役員 プラスチックカンパニー長  
執行役員 プラスチックカンパニー次長  
執行役員 メディカル事業部長

赤瀬 康宏  
木村 克彦  
岡 高広  
岡 修也  
荒木 敬太  
佐保 一成  
奥田 智久  
吉鹿 央子  
花岡 裕史  
澤田 博和  
松田晶二郎

### 主な連結子会社

(国内)	(海外)
福島プラスチック(株)	Gunze Plastics&Engineering (米国)
グンゼ包装システム(株)	Corporation of America
グンゼ高分子(株)	上海部是新塑材有限公司 (中国)
(株)メディカルユアードエイ	Gunze Plastics & Engineering of (ベトナム)
東北グンゼ(株)	Vietnam Co.,Ltd.
グンゼ物流(株)	Guan Zhi Holdings Ltd. (香港)
(株)ジーンズ・カジュアルダン	山東冠世針織有限公司 (中国)
グンゼ開発(株)	Gunze (Vietnam) Co.,Ltd. (ベトナム)
グンゼスポーツ(株)	Thai Gunze Co.,Ltd. (タイ)
グンゼグリーン(株)	Gunze Hanoi Co.,Ltd. (ベトナム)
	P.T. Gunze Indonesia (インドネシア)

## 会社の概況 (2022年3月31日現在)

社 名 グンゼ株式会社  
設立年月日 1896年8月10日  
資本金 26,071百万円  
従業員 1,662名(単体) 5,692名(連結)  
本店 京都府綾部市青野町膳所1番地  
大阪本社 大阪市北区梅田二丁目5番25号  
ハープスOSAKAオフィスタワー22階  
TEL(06)6348-1313  
東京支社 東京都港区東新橋1丁目9番1号  
東京汐留ビルディング15階  
TEL(03)4485-0000

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 6月下旬  
株主総会・期末配当金基準日 3月31日  
公告方法 電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
上場取引所 東京(プライム市場)  
証券コード 3002  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
同連絡先 〒541-8502  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
TEL: 0120-094-777(通話料無料)